



平成 24 年 3 月 9 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 CEO 山本 正卓
(コード番号：2411)
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、当社の連結子会社であり中古遊技機売買仲介事業を手掛ける株式会社バリュー・クエスト（以下、VQ社）の全株式を下記のとおり譲渡することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件株式譲渡により、VQ社は当社の連結範囲から除外されることとなります。

記

1. 株式譲渡の理由

当社の連結子会社であるVQ社は、インターネット上において中古パチンコ・パチスロ機の売買仲介サイト「VQnet.com」を運営しております。当社は、将来的な事業ドメインの拡大に向け、まずは中古遊技機市場への足掛りを築く目的で、平成 17 年 4 月にはVQ社に資本参加の上、同社を持分法適用会社とし、翌年 6 月には株式の追加取得を行い、連結子会社化いたしました。

その後、中古遊技機流通市場の急激な成長による追い風を受け、VQ社の業容は拡大し、業績も急激に伸長しておりましたが、平成 21 年 3 月期を境として市場環境は急転いたしました。VQ社の中古遊技機取扱台数は急激な減少に転じ、現在も未だ下げ止まりが確認できない状況にあります。そうした厳しい環境下でVQ社では人員の削減をはじめとする固定費の大幅なカットによる収益構造の改善を試みてきたものの、市場の急激な縮小による影響を埋め合わせるには至っておりません。

今般、2期連続の営業損失計上が確定的となり、平成 24 年 3 月第 3 四半期連結累計期間末においては、中古遊技機トレードシステムを初めとするVQ社の固定資産の帳簿価額全額について減損損失計上を余儀なくされるまでに至ったことから、当社は、抜本的な打開策の一つとして、VQ社株式の売却についての検討を開始いたしました。

そうした中、VQ社の代表取締役である山田成徳氏より当社が保有するVQ社株式の買取の申し出があったことから、当社は諸条件を検討してまいりました。当該検討にあたっては、当期末までの売却による法人税等の節税効果の発現や、この先の追加損失負担リスクの回避といった財務上の諸条件からみた合理性に加えて、中古遊技機流通市場において取引価格情報提供機能をはじめとしたインフラとしての役割を担うVQ社の事業の安定運営を支える現経営陣の熱意が、VQ社の存続に不可欠であろうと判断

されたこと等、事業継続上の理由が重要視されました。

その結果、当社は、当期末までのタイミングで、現経営陣の山田成徳氏へ売却することが実行可能な選択肢の中で最も合理的であると判断したことから、同氏からの買取の申し出を受け入れることとし、当社の保有するVQ社の全株式を売却することを決定いたしました。

2. 異動する子会社（VQ社）の概要

- | | |
|--------------------|--|
| (1) 商号 | 株式会社バリュー・クエスト |
| (2) 本店所在地 | 東京都台東区台東三丁目15番1号京阪御徒町ビル6F |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 山田 成徳 |
| (4) 事業内容 | インターネットを利用した中古遊技機の売買仲介業務 |
| (5) 資本金の額 | 50 百万円 |
| (6) 設立年月日 | 平成9年7月28日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | ゲンダイエージェンシー株式会社 65.9%
山田 成徳 28.1% |
| (8) 上場会社と当該会社との関係等 | 資本関係：当社は当該会社株式を2,215株（65.9%）保有
人的関係：当社からの取締役の派遣2名
取引関係：該当事項はありません。
関連当事者への該当状況：当該会社は、当社の連結子会社であり、関連当事者に該当いたします。 |

(9) 最近3年間の財政状態及び経営成績

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	(参考) 平成24年3月期 第3四半期累計期間(注)
	百万円	百万円	百万円	百万円
純 資 産	1,043	1,173	1,014	47
総 資 産	2,976	1,845	1,284	255
1株当たり純資産(円)	310,466.10	349,196.86	302,076.37	14,105.36
売 上 高	1,671	1,396	593	301
営 業 利 益	568	328	△118	△53
経 常 利 益	568	328	△106	△49
当 期 純 利 益	336	130	△158	△228
1株当たり純利益(円)	100,074.28	38,730.76	△47,120.49	△67,971.00
1株当たり配当金(円)	—	—	220,000.00	—

(注) 平成24年3月期中において、財政状態・経営成績の急激な変動があったことから、参考情報として記載しております。

3. 譲渡の相手方の概要

- | | |
|------------------|---|
| (1) 氏名 | 山田 成徳 |
| (2) 住所 | 東京都文京区 |
| (3) 上場会社と当該個人の関係 | 当該個人は、今回異動の対象となる子会社（VQ社）の代表取締役であります。当社と当該個人との間には、取引関係はありません。なお、当該個人は、当社株式を115株所有しております。 |

4. 譲渡株数、金額及び発行済株式総数に対する割合

- | | |
|-------------------|---|
| (1) 譲渡株数 | 2,215株 |
| (2) 金額 | 31百万円 |
| (3) 発行済株式総数に対する割合 | 65.9% |
| (4) 譲渡価額の算定根拠 | 独立した第三者機関が純資産方式及び類似会社比準方式を採用して算定した価格を基準として、平成23年12月末における当該子会社の簿価純資産価額等を考慮し、譲渡先との協議の上、譲渡価額を決定いたしました。 |

5. 譲渡前及び譲渡後の所有株式数及び所有割合

- | | | | |
|---------------|--------|---------------|-------------|
| (1) 譲渡前の所有株式数 | 2,215株 | （議決権の数2,215個） | （所有割合65.9%） |
| (2) 譲渡後の所有株式数 | －株 | （議決権の数－個） | （所有割合－%） |

6. 日程

- | | |
|-----------|----------|
| 平成24年3月9日 | 取締役会決議 |
| 平成24年3月9日 | 株式譲渡契約締結 |
| 平成24年3月9日 | 株式譲渡 |

7. 今後の見通し

当期の連結業績への影響につきましては、本件連結子会社株式の売却取引に伴う売却損益は発生しませんが、連結税効果の影響により、税金費用が約△280百万円減少する結果、当期純利益は同額（約+280百万円）増加する見込みであります。なお、当社は本件取引による当期業績への影響を踏まえ、本日付で業績予想の修正を行っております。詳細は本日別途開示する、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、来期以降の連結業績につきましては、本件譲渡に伴うVQ社の連結範囲からの除外の影響により、通期での売上が約△300百万円減少する一方で営業利益、経常利益はそれぞれ約+50百万円の増加、当期純利益は約+30百万円の増加となる見込みであります。

以 上